

建築学科

図学・基礎デザイン

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	小田島 佑			実務 経験	有	職種	建築設計				

授業概要

デッサン、平面構成図法、ペースの作成などを通して、造形的・色彩的センスを養います。

到達目標

正確な平面や立体の図形認識力を養い、具象的な表現を行う能力を身につけるために、次の3点を到達目標とする。①デッサン、図法、平面構成、デザインスケッチ、建築ペース等の二次元的表現の基礎を習得し描画できる。②立体構成、模型製作等の課題を通して、空間を構成および表現できる。③平面構成や立体構成の応用、芸術科学の知識および各種表現事例の学習を通して自由な発想力が表現できる。

授業方法

毎回、作図や立体構成等の即日課題を行う。単純な平面操作・立体操作から始まり、最終的には空間ペースおよび建築的な立体構成作品を完成させる。各課題に必要なデザイン講義は適宜行いながら作業を進める。

成績評価方法

授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する

履修上の注意

プリントを多数使うので、毎回製本作業を行い資料を1冊にまとめること。授業時間中の指導・講義・作業に加えて、それ以外の時間での思考・検討・作業など、個々の目的に合わせて効果的に配分し取り組むこと。各回、必要な製図道具等が異なるので、忘れ物のないように事前に確認すること。

教科書教材

毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	紙を使った表現を通して、モノの構造や形態の可能性について理解する。
第2回	基礎的な図法について理解する。立体模型を製作方法を理解する。
第3回	平面図を正確にトレースすることができる。単純な立体模型を製作できる。

第4回	立面パースを正確にトレースすることができる。複雑な立体模型を製作できる。
第5回	建築物のイメージパースを描くことができる。複雑な多面体の構造を理解し製作することができる。
第6回	立方体を切断してできる多面体の断面構造を理解し模型を製作することができる。
第7回	紙を使った表現を通して、モノの構造や形態の可能性について理解する。
第8回	様々な透視図法について理解する。アイソメ図を描くことができる。
第9回	立体構成を通して3次元的な表現について理解する。
第10回	一点透視図法の基本を理解する。一点透視図法で単純な立体を描くことができる。
第11回	一点透視図法で複雑な立体を描くことができる。
第12回	一点透視図法でパース（線画）を描くことができる。
第13回	一点透視図法でパース（着彩）を描くことができる。
第14回	建築的な立体造形を製作することができる。
第15回	立体構成の製作を通して構造的および造形的に空間を表現することができる。